

原木販売の低迷打開へ、木工品オリジナルブランド立ち上げる!

甲斐東部材産地形成事業協同組合(渡邊泰理事長)は、オリジナルブランド「シンプルウッドまるき」を立ち上げ、県産の木材を使った収納箱や店舗用什器等の製造・販売に乗り出した。

当該組合は、山梨県東部の木材供給拠点として平成9年から活動を始めた甲斐東部材製材協同組合(製材工場)、甲斐東部材プレカット協同組合(プレ

カット工場)と連携して、原木販売拡大のための市場整備・運営を行ってきたが、県産木材の製材と販売の取引量の減少を受け、加工

設備や技術を生かして消費者に直販できる最終製品を開発することを目指すこととなった。

今回組合が新たな市場開拓のために着手したオリジナルブランドには、三つのポイントがある。一つ目は全国有数の森林県である山梨の良質な県産材「山梨の木」をたくさん使うことで地域振興と環境保全を図ること。二つ目は近くの山から伐採した木を製材・乾燥して「そのまま」使用することでシンプルな部材の組み合わせを楽しむこと。三つ目は節を含む木肌の自然な美しさ、無垢材のやわらかい手触り、無塗装の木の香りを味わえる「すっぴん」となっている。

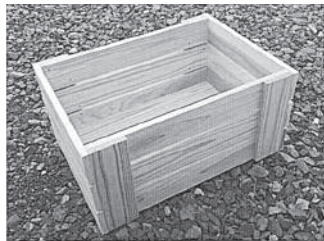
収納箱はA4サイズを基本に、書類トレーから書棚、おもちゃ箱から野菜入れまで活用が様々ものとなっている。オプションで高さオーダー、キャスター、ふた

付きを選ぶことができる。また、各種店舗用什器は、板厚15mm以上のスギ無垢材を使用し、木箱、陳列棚、平台、テーブル、ベンチ等、店舗の広さに合わせた寸法で製作、部材の希望など様々な相談にも応じている。

組合の渡邊泰理事長は、「今後、インターネット等一般消費者に直接販売できる商品を作ることで、新たな市場の開拓を目指すと同時に、商品を拡充することで県産材の利用増につなげたい。」としている。



店舗用什器



収納箱